



帆船「みらいへ」体験乗船で学ぶこと

ご案内しています、標記体験活動が近づいてきました。これは、“ふなどころ阿南まちづくり協議会”の主催事業で、送迎のバスを含め費用はかかりません。児童にとっては貴重な体験を得られると期待しているところです。連絡しています諸準備をお進めいただければと存じます。



「みらいへ」(→写真)は、全長52.16m、

全幅8.6m、230tの帆船です。この「みらいへ」の甲板を中心に、わくわく班の3組に分かれて「見る」「学ぶ」「体験」の諸活動に取り組みます。天候に恵まれれば、帆を張る体験も計画されています。

本活動の意義について記します。お子さんと一緒に読んでいただければ幸いです。

何より、生涯でこの1回だけかもしれない特別な活動を、安全で楽しい体験にするために、自分のもっている力を精一杯出してほしいです。“自分のもっている力”とは、学年により、また、児童により違いはあるでしょうが、これまで集団生活（家庭や学校等）で身に付けてきた全ての力です。『集団生活で』のところがミソです。『集団生活で』というのは、①船内の限られたスペースで活動する、②全員で一つの目標（安全で楽しく）の達成をめざす、③自分だけでなく周りにいる自分以外の人と力を合わせるからです。そのために大切なのは、話す、聞く、読む、静かにする、約束やルールを守る、自分でする、責任を果たす、ウソをつかない、人にやさしくする、自分が失敗したら素直にあやまる、何度でも挑戦する、あやまる人を許す、ありがとうと言うなどです。どうでしょう。これらは、家庭や学校で、毎日がんばっていることばかりです。「みらいへ」の体験乗船では、一人ひとりが自分の力を精一杯出しましょう。この1回に、自分の力を全部ギュッと出しましょう。それを努力と言います。



次に、活動はわくわく班で行います。担任の先生がいる教室とはちがいます。班長をはじめ高学年のみなさんは、船の人の言うことをよく聞いて、中・低学年がわかるように、できるように動きましょう。チーム（集団）がうまく動くとやりがいも倍増します。

いい思い出を作るには、いい準備が大切です。健康・安全に過ごしていきましょう。